

# 総合流域防災測量設計委託 (大里川25-1工区)

発注者 鹿児島地域振興局

実施年度 平成25年度

## 業務の目的及び概要

鹿児島市の重平山に源を発して日置市東市来町湯田湯之元を貫流し、西流して東シナ海に至る流路延長19.6km、流域面積43.3km<sup>2</sup>の二級河川大里川は、過年度よりその改修計画が進められていますが、本業務は、大里川の石瀬橋下流1K/050地点から学校橋上流2K/000地点間において、多自然川づくりに配慮しつつ、経済的かつ合理的な川づくりの提案を行ったものです。

## 業務実施主要項目

基本方針、整備計画に基づき、合理的かつ経済的に河道計画の予備設計を行いました。

河道詳細設計	計画堤防法線の基本方針を確認し、地形や河道状況等から多自然川づくりに配慮した平面・縦断・横断形状を決定 上下流バランスを考慮した段階的施工の可能性の検討
護岸形式の検討	最適な護岸タイプを決定
構造物との取付け検討	近傍構造物との位置関係を確認し、橋梁、樋門等の取り合いを検討
付帯施設設計	乗入れ施設、取付け道路、排水・利水施設を設計

## 技術的ポイント

- ① 河道計画  
河道の平面線形の設定に当たっては、現況の線形を重視することを基本としますが、防災上や環境保全等の観点から線形を修正し、河床の安定性や自然環境、沿川に計画されている他の事業等との整合性に留意しつつ計画しました。  
  
縦断形は、堤防法線や河道の縦断形と関連させ、堤内地盤高、河道の安定、河床材料の変化、経済性等を考慮して設定しました。  
  
横断形は、計画高水流量を計画高水位以下の水位で安全に流下させる河積を確保しました。
- ② 多自然川づくりの検討  
河川の自然環境、水利用の現状、水質、河道特性について整理するとともに、拡幅や、みお筋の平行移動（スライドダウン）等、多自然川づくりの考え方を基に計画しました。
- ③ 治水安全度確保のための改修工事優先順位  
河川改修工事は、下流から上流に向かって実施することが基本ですが、現況河道流下能力の検討結果から、流下能力不足区間を把握し、区間毎に改修する優先順位を設定しました。
- ④ 樋門および橋梁の統廃合  
堤内地盤が低い箇所および排水状況等を勘察した、樋門の統廃合や堤防拡幅に伴う橋梁の架替えについて検討しました。

